

# 市議会だより

大月市

令和6年2月29日発行 No.173

## 大月市二十歳の成人式



大月市二十歳の成人式  
実行委員会閉式の挨拶

### CONTENTS

- ・ 令和5年第5回（12月）市議会定例会  
（主な議案の内容）…………… P. 2～
- ・ 議決結果等一覧表…………… P. 4～
- ・ 代表質問／一般質問…………… P. 6～
- ・ 議会日誌…………… P. 16

# こんな事が決まりました

11月29日～12月20日（22日間）

## 今定例会の議案



### 市長提出

- 条例案件・・・11件
  - 補正予算案件・・・14件
  - 人事案件・・・3件
  - その他・・・2件
- **議会提出**
- 条例案件・・・1件

### 主な議案の内容

#### 条例

◎大月市国民健康保険税条例中改正の件

産前産後期間の国民健康保険税が減額

国民健康保険税の産前産後期間に係る所得割額及び被保険者均等割額の減額について、所要の条例を改正した。

軽自動車税の減免対象範囲の変更

◎大月市税条例中改正の件

障害者に対する自動車税の減免対象範囲に、精神障害者・知的障害者の本人運転が加えられたので、軽自動車税の減免対象範囲も同様に見直す必要があり、所要の条例を改正した。

#### 予算（補正）

◎令和5年度 一般会計補正予算（第5号）

○新庁舎建設事業（用地測量等調査費）

2,800万円

#### 人事

◎大月市監査委員の選任について同意を求める件

・新たに佐藤精一氏が選任された。

◎大月市固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件

・新たに山中孝司氏が選任された。  
・改めて井上初氏が選任された。

#### その他

◎エルムーン駒橋指定管理者指定の件

次のとおり指定管理者を指定した。

- ・指定管理者 名称 BML株式会社
- ・指定の期間 引き渡し日の翌日から令和36年3月31日まで



エルムーン駒橋

## 常任委員会の様子

### 総務産業常任委員会

新庁舎建設事業について  
(総務管理課)

エルムーン駒橋について  
(建設課)

Q エルムーン駒橋の入居希望者の抽選状況は。

A 12月3日に抽選を行いました。申込者17世帯のうち、欠席の1世帯を除く16世帯の入居が決定しました。内訳として、子供がいない新婚世帯又は婚姻予定の世帯が7世帯、子供がいる世帯が9世帯、計16世帯が今のところ決定をしております。世帯員数は総勢43人、市外からの転入者は24人転入になります。その他19名は市内移転ということになります。

Q 建設新聞に新庁舎工事が34億円と出ていた見積りもしていないのに何故このような金額が出るのか。

A 新聞報道の根拠につきましては、外部審議会に3カ所の比較検討をしていただいております。その時に、庁舎面積をおおよそ2、500㎡で建築した場合の概算の事業費を比較してもらったために出ていた概算事業費とご理解いただければと思っております。

Q 3カ所がすべて同じ金額と聞いたがそんなことはあり得るのか。

A 3カ所で5つのプランが出まして、その比較の中でそれぞれの金額については当然違ってまいります。

### 社会文教常任委員会

空き家対策について  
(市民課)

Q 空き家対策計画の進捗状況は。

A 今年度のランク付けが終わりまして、前回調査したものとすり合わせを行いまして、ここで補正をさせていただく中で1月から審議会を進めたいと思っております。

Q 企画財政課など、空き家バンクを統括している課と連携することは計画の中に盛り込まれているのか。

A まだ具体的な計画案が出されていない状況ですので、今後そのものも含めまして連携をしたいと思っております。

大月短期大学について  
(短大事務局)

Q 学校管理費の施設等管理事業で計上されている245万9,000円、その具体的な用途は。

A 燃料費55万6,000円と光熱水費190万3,000円となっております。

Q 年間で施設管理全体でどのくらい高騰しているような状況か。

A 具体的な数字、パーセントは出ませんが、1年間の累計は取っております。それに基づいて前年比と対比してこれだけの金額が必要になるということで計上させていただきました。

Q イチゴ栽培を3年程前から始めているが、電気料がどんどん上がっ

て非常に苦しい状況の中で継続していくほどの意味があるのか。

A 今年度の教育的な目的としましてマーケティング活動とか地域ビジネスの企画を学業のほかに残せるような形は取れてきております。今後検証をして、引き続き地域実習でありますので、検討してまいります。



大月短期大学

# 議決結果等一覧表

賛成○ 反対× 退席― 欠席／ ※奥脇一夫議長を除く

種別	議案番号	議 員 名 案 件 名	萩	小	山	藤	山	相	鈴	棚	山	鈴	鈴	天	結 果	
			原	原	田	本	田	馬	木	本	地	木	木	野		
			剛	文	善	実	政	力	基	晃	涉	康	竜	築		
条 例	第 49 号	大月市簡易水道事業の設置等に関する条例制定の件														
	第 50 号	大月市簡易水道事業の剰余金の処分等に関する条例制定の件														
	第 51 号	大月市下水道事業の設置等に関する条例制定の件														
	第 52 号	大月市下水道事業の剰余金の処分等に関する条例制定の件														
	第 53 号	大月市簡易水道事業及び下水道事業に地方公営企業法の財務規定等を適用することに伴う関係条例の整備に関する条例制定の件														
	第 54 号	大月市税条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第 55 号	大月市国民健康保険税条例中改正の件														
	第 56 号	大月市子ども・子育て会議条例中改正の件														
	第 67 号	大月市職員給与条例中改正の件														
	第 68 号	大月市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例中改正の件														
	第 69 号	大月市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例中改正の件														
	第 79 号	大月市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例中改正の件														
補 正 予 算	第 57 号	令和 5 年度 大月市一般会計補正予算 (第 5 号)	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	可決	
	第 58 号	令和 5 年度 大月市大月短期大学特別会計補正予算 (第 1 号)														
	第 59 号	令和 5 年度 大月市国民健康保険特別会計補正予算 (第 1 号)														
	第 60 号	令和 5 年度 大月市簡易水道特別会計補正予算 (第 2 号)														
	第 61 号	令和 5 年度 大月市下水道特別会計補正予算 (第 1 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	第 62 号	令和 5 年度 大月市介護保険特別会計補正予算 (第 1 号)														
	第 63 号	令和 5 年度 大月市介護サービス特別会計補正予算 (第 1 号)														
	第 64 号	令和 5 年度 大月市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 1 号)														

# 令和5年12月定例会

賛成○ 反対× 退席― 欠席／ ※奥脇一夫議長を除く

種別	議案番号	議 員 名 案 件 名	萩	小	山	藤	山	相	鈴	棚	山	鈴	鈴	天	結 果
			原	原	田	本	田	馬	木	本	地	木	木	野	
			剛	文	善	実	政	力	基	晃	涉	康	竜	築	
補正 予算	第70号	令和5年度大月市一般会計補正予算(第6号)													可決
	第71号	令和5年度大月市大月短期大学特別会計補正予算(第2号)													
	第72号	令和5年度大月市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第73号	令和5年度大月市簡易水道特別会計補正予算(第3号)													
	第74号	令和5年度大月市下水道特別会計補正予算(第2号)													
	第75号	令和5年度大月市介護保険特別会計補正予算(第2号)													
その他	第65号	エルムーン駒橋指定管理者指定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第66号	市営駒橋団地指定管理者指定の件													
人事	第76号	大月市監査委員の選任について同意を求める件													同意
	第77号	大月市固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第78号	大月市固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件													



# 市政を問う

ズバリ!

## 1 2月定例会

# 代表質問・一般質問

代表質問・一般質問とは、市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただしたり、報告を求めたりするもので、各定例会で行われます。

### 代表質問

(1) 山田善一 議員 (自由民主党) 7ページ

- ①本市の25人学級の実態は
- ②特色ある自由な授業を

(2) 天野 築 議員 (大月の新しい風) 8ページ

- ①国道20号の新笹子トンネル工事の状況と工期は
- ②大月市立中央病院の南棟の空き病棟の現状は

(3) 山田政文 議員 (大月の新しい風) 関連質問 9ページ

- ①中央病院はどのように変わったか
- ②デマンドタクシーの実証実験の結果は

(4) 山地 渉 議員 (大月の新しい風) 関連質問 10ページ

- ①ごみや汚れたり壊れている標識への対策は
- ②文化・スポーツ活動に対するサービスの向上は

(5) 棚本晃行 議員 (山と川の街大月) 11ページ

- ①持続可能なまちの実現に向けた財源確保策を

### 一般質問

(6) 藤本 実 議員 (日本共産党 所属) 12ページ

- ①会計年度任用職員の給与の改定は
- ②自伐型林業についての認識は

(7) 鈴木康揮 議員 (公明党 所属) 13ページ

- ①女性のひきこもりについて

(8) 鈴木基方 議員 (自由民主党) 14ページ

- ①業務の統括としての副市長の設置を
- ②市制70周年に向けての考えは



市議会のページは  
こちらから

本文は要旨の掲載であり、質問者自身が責任を持って作成したものです。詳しい内容については、会議録（3月上旬発行予定）を図書館及び市のホームページ（<https://www.city.otsuki.yamanashi.jp>）で閲覧することができます。



自由民主党

やまだ よしかず  
山田 善一

## Q 本市の25人学級の実態は

### A 県の施策に該当する学級はない

**問** 県は25人学級を進めているが、本市の実態、それに伴う教員確保は、正職員と市費負担教員の割合を含めて伺う。

つありますが、この県の施策には該当いたしません。しかしながら、同じく県の施策により、当該学級には教員の加配があり、学級2名の教員が確保されており、25人学級編制による市費負担教員の配置はございません。

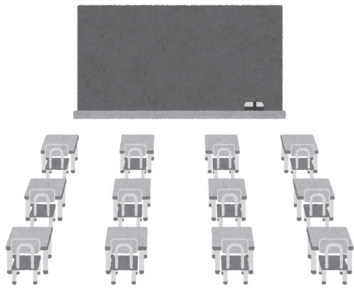
**答** 教育次長

本市の現状といたしましては、小学校1年生から3年生までに25人を超えて35人以下の学級が大月東小学校と猿橋小学校に1学級ずつ

で、小学校、中学校の体制が今後どうなっていくのか。どういう形で中学校を残していきたいのか伺う。

**答** 市長

本市の小学校では、比較的小規模、少人数であることにより、その理念になう丁寧な教育がなされ、学力の向上を目指していくことができるという大きなメリットがあります。今後は、子供たちが健やかで幸せに成長できる社会を実現するという、こどもまんなか宣言の趣旨にのっとり、本市の各校のあるべき体制について検討してまいります。



## Q 特色ある自由な授業を

### A 本市独自のふるさと教育に取り組み、難しい課題も研究していきたい

**問** 大月市はふるさと教育による共同学習などを取り入れているが、小学校から自由な授業をさせてあげられないか。午前中は文部科学省が言うようにやり、午後からは本人に合った授業をさせてやる。そういう授業ができるのか伺う。

学校の地域に根づいた実践を重ねております。

もう一つの特色ある取組は、大月市人口問題・地域活性化を考える市民会議「大月みらい会議」が平成30年度から中学生を対象に行っているキャリア教育への支援であります。

**答** 教育長

特色ある学校づくりについて、故郷に愛着を持てるような郷土学習の取組、新しい教育ということだと思いますけれども、学校教育の基幹としてふるさと教育の推進を掲げ、それぞれの

このように、地域の方々の具体的な支援を受けたキャリア教育もふるさと教育であり、本市独自の取組であります。午後の時間について自由という新しい提案をいただきましたけれども、大変難しい課題ですのも、そういったことも研究してまいりたいと思っております。

再質問

**問** 人口が減っていく中



大月の新しい風

あまの きずく  
天野 築

## Q 国道20号の新笹子トンネル工事の状況と工期は

## A 現在トンネル掘削に係る準備工事をしている

問

新笹子トンネルについて、新設が予定されているが、大月市側においては既にその工事が始まっているように見られる。この工事の状況と工期がどうなっているのかについて伺う。

答

産業建設部長

国道20号笹子トンネルは、建設後60年以上が経過し、老朽化が著しく、トンネルの断面が狭小のため、一部の車両の通行不能、歩行者や自転車通行の安全性に課題が生じております。新笹子トンネルは、これらの課題を解消するために、利用

交通の安全性や広域物流の支援の確保を目的に、新たなトンネルの整備を行うこととしております。現在は、大月市側出入口付近において、トンネル掘削に係る準備工事として、法面改良保全工事に着手しております。また、トンネル本体の工事としての最初の工事発注もされており、大林・大本特定建設工事共同企業体が落札しております。この工事の概要は、トンネル本線坑の掘削の一部を開始する予定となっており、令和8年3月までを工期としております。最終的な完成につきましては、公表されておられません。



法面工事の様子

## Q 大月市立中央病院の南棟の空き病棟の現状は

## A 医師、看護師確保等の課題などから休床が続いている

問

大月市立中央病院の南棟には、使用されていない空き病棟があるが、この南棟の空き病棟の現状は。

答

市民生活部長

大月市立中央病院は、東棟3階及び4階病棟と、南棟2階及び3階病棟をそれぞれの部屋ごとに入院の受け入れの病室等として、山梨県から許可を受けております。その中で、現在南棟2階病棟及び3階病棟は、医師、看護師確保等の課題などから休床が続いております。なお、新型コロナウイルス感染症拡大時には、感染

された患者さんを3階病棟の一部に受入れしております。

### その他の質問

問

観光政策において観光客誘致に注力する重点箇所は

問

公民館で行う活動やイベントの営利、非営利の判断基準は

問

路線バスの利用状況は





大月の新しい風

やまだ まさふみ  
山田 政文

**Q** 中央病院はどのように変わったか

**A** 山梨大学教授の診療枠が拡大した

**問** 中央病院と山梨大学が昨年12月に包括連携協定を締結して1年経過するが、どのように変わったのか、また市民からどのような声が届いているか伺う。

**答** 市長

山梨大学とは、令和4年12月に包括連携協定を締結いたしました。山梨大学から4月に榎本理事長、山科病院長をはじめ、4名の常勤医師も新たな体制に加わり、各診療科にも非常勤医師が派遣されており、特に教授の外来診療枠が8診療

科までに拡大し、医学部附属病院との高度な医療連携が浸透してきていると感じております。

今後は山梨大学医学部附属病院の連携病院として、市民に信頼される病院として、優しい態度と優れた医療、そして持続可能な病院経営を進めていくものと期待をしております。

市民からは、附属病院へ通院せずに中央病院で診てもらえるようになった。丁寧で優しい対応をもらったなど、多くのお褒めの言葉が市役所、私自身にも届くようになっております。



大月市立中央病院

**Q** デマンドタクシーの実証実験の結果は

**A** 一定の評価があったと理解する

**問**

今年度実施したデマンドタクシーの実証実験の結果と評価について伺う。

次に、実証実験に要した費用について、その総額と財源についても伺う。

**答** 総務部長

今年度、初狩町藤沢地区、丸田地区と梁川町の全域、猿橋町小篠地区において7月から9月末までの3か月間、デマンドタクシーの実証運行を実施いたしました。初狩町では利用者はなく、梁川町と猿橋町小篠地区では18名の方にご利用いただきました。梁川町と小篠地区からは、乗り場や運行時

間の変更等の要望もあり、一定の評価があったと理解しております。

経費については、車両借り上げ方式で実施し、藤沢地区、丸田地区の運行が1日当たり約2万円、梁川町と小篠地区の運行が1日当たり約3万円となっております。総額で約350万円となっております。今回の実証実験は市単独事業で実施しましたが、本格運用の際には国の補助制度を活用して実施することができます。



デマンドタクシー



大月の新しい風

やまじ わたる  
山地 渉

**Q** ごみや汚れたり壊れて  
いる標識への対策は

**A** 週に6日、生活環境。パト  
ロールを実施

**問**

散見するごみと、汚  
れたり壊れたりした標  
識への対策は。

岩殿山は、秀麗富嶽  
十二景を代表する山で、  
大月桃太郎伝説では赤  
鬼が住んでいた山です。  
猿橋、鮎釣りに次ぐ魅  
力ある観光スポットで  
ある岩殿山登山道の現  
状と取り組んでいる内

容、今後の対策は。

**答** 産業観光課長

週に6日、生活環境。パト  
ロールを実施しており、不  
法投棄場所の土地所有者等  
にも管理方法について注意  
を払っていただくとくようお  
願いをしながら対応してお  
ります。

案内標識につきましても、  
職員が巡回したり、登山客  
からの情報提供によって把  
握し、その都度修復や付け  
替えをしております。

岩殿山南側の丸山公園か  
ら山頂へと続く強瀬ルート  
については、落石の危険が  
あるため、登山者の安全を  
考慮して通行止めとしてい  
るところです。強瀬ルート  
の登山道につきましてもは、  
駐車場も整備されており、  
富士山を眺められる新たな  
強瀬ルートを開拓したく、  
関係各所と協議を進めてお  
ります。



登山案内標識

**Q** 文化・スポーツ活  
動に対するサービ  
スの向上は

**A** 軽スポーツの普及  
ほか新たな事業を  
企画

**問**

サービスの向上が利  
用者の増加につながり、  
生きがいの創造と健康  
増進にもつながり、認  
知症予防、要介護予防、  
医療費の削減にも貢献  
できると考える。市民  
に市民会館、総合体育  
館などをより活用いた  
だくための方策は。

**答** 社会教育課長

児童から高齢者までが一  
緒になって気軽に楽しめる  
軽スポーツの普及などの他、  
新たな事業を企画し、来館  
を呼びかけております。  
また、テニスコートや総  
合体育館などにおいての施  
設修繕の早期実施、市民会  
館における冷暖房費実費負  
担の見直しなど、利用のし

やすさに努めております。

再質問

**問** 施設利用手続き簡素  
化の検討は。

**答** 社会教育課長

利用申請と特例措置であ  
る使用料減免申請が同時に  
行われる際に、利用者情報  
の重複記載の削減や押印の  
省略等を想定して検討して  
おります。

その他の質問

**問** 公共施設使用料減免  
について明確な基準  
はあるか

**問** 公共施設使用料減免  
団体の事前登録はで  
きるか

**問** 事前登録制について  
市内施設の利用実態、  
他の自治体の手続き  
状況の調査など、検  
討は行っているか



山と川の街大月

たなもと あきゆき  
棚本 晃行

## Q 持続可能なまちの実現に向けた財源確保策を

## A ふるさと納税の増額など、全庁を挙げてあらゆる財源確保に努めていく

あると考えるが、今後の財源確保に向けた方針を伺う。

### 答 市長

ふるさと納税の増額には、令和2年度から返礼品開発補助金要綱を策定し、地場産品の開発助成やふるさと納税人気返礼品スペシャル補助金を制定し、シャインマスカットや精肉などの人気返礼品の創設にも取り組んできており、栽培、育成が進み、商品化の準備をしております。今後も市内事業者への支援を続け、新たな特産品をつくるとともに、現存する特産品をブラッシュアップしながら、さらなる増額を目指し取り組んでまいります。

心のある企業が集まる公民連携機関で本市を紹介する機会を得るなど、広く市の取組を知っていただき、支援につなげてまいります。内閣府の企業版ふるさと納税マッチングアドバイザーからの情報提供や取組手法などの指導、民間調査会社などと協力する中で、山梨県や本市に関連する法人に絞り、訪問するなど計画的に活動し、支援を募っていきたく考えております。

また、クラウドファンディングについては、名勝猿橋修復事業や赤ちゃん防災事業で活用実績があり、さらなる事業展開を図ってまいります。

財源確保の方策である市の持つ様々な媒体を活用したさらなる広告収入の確保、ネーミングライツの活用、受益者負担の見直し、有利な補助金、交付金の確保などについては、有効な方策と考えており、全庁を挙げ、さらに深く研究、情報共有を図り、あらゆる財源確保に努めてまいります。

大月市内から望む富士山



### その他の質問

問 物価高騰対策として今後の支援は

問 ゼロカーボンシティ実現に向けた取組は

問 DXの推進に向けた取組は

問 5歳児健診の導入を

### 問

本市は厳しい財政状況にあり、財源をどのように確保していくのか十分な論議を行う必要がある。ふるさと納税においては、市自身が投資をし、地域ブランドをつくり上げていくこと、企業版ふるさと納税、クラウドファンディングの活用、広

告収入の確保やネーミングライツの活用、受益者負担の見直し、有利な補助金、交付金の確保など、全庁を挙げて、常に新たな財源を探り、あらゆる財源確保策に取り組むべきと考える。財源の確保は、持続可能なまちを実現していくには不可欠で

また、企業版ふるさと納税につきましては、私自身がトップセールスを行い、支援をいただける企業に向けて積極的にアプローチしてまいります。具体的には、首都圏大月市会を通じた企業訪問や、地方自治体に関

財源確保の方策である市の持つ様々な媒体を活用したさらなる広告収入の確保、ネーミングライツの活用、受益者負担の見直し、有利な補助金、交付金の確保などについては、有効な方策と考えており、全庁を挙げ、さらに深く研究、情報共有を図り、あらゆる財源確保に努めてまいります。



ふじもと みのる  
藤本 実

日本共産党 所属

## Q 会計年度任用職員の給与の改定は

### A 4月に遡り改定差額を支給する

問

労働基本権を制限されながら、しかも予算上の裏づけを与えられずともなお対処しないとすれば、差別的な取扱いをしていると指摘せざるを得ない。会計年度任用職員の給与の改定は、常勤職員の給与の改定に係る取扱いに準じて4月に遡って改定すべきだ。

答

秘書広報課長

人事院勧告に伴う給与改定に当たり、現在の本市の条例では、会計年度任用職員への給与改定の効力は、翌年度の4月からとしており、本年4月の遡及は行わないものとしております。しかしながら、議員のご指摘のとおり、令和5年5月の国からの通知において、

## Q 自伐型林業についての認識は

### A 本市では厳しいが大変に興味深い

問

現在、全国48自治体が自伐型林業推進を展開し、継続した研修や作業道補助金メニューの創設、地域おこし協力隊の募集、稼働、山林マッチング等により地域支援を続けている。限られた森で、その森を離れず持続的に経営管理、施業できる人が自ら行う自立、自営の林業が自伐型林業であるが、市の認識は。

答

市長

自伐型林業は、採算性と環境保全を高い水準で両立を目指すものであり、まず採算性の確保が求められますが、全国的に長い間、手を入れていない森林が多くあるように、本市においても建築用材、家具材など市場性が最も高いとされるA材の割合が低く、採算性は厳しいものと想像されます。現在、本市での環境保全の観点に基づいた森林整備

会計年度任用職員の給与につきましても、4月に遡り改定差額を支給するよう要請されていることや、山梨県や近隣市の対応を踏まえ、本市においても会計年度任用職員の給与を4月に遡り支給できるよう、条例の改正を行い、対応したいと考えております。

に向けては、森林環境譲与税を財源とした主伐と花粉の少ないスギ、ヒノキへの更新などの事業を令和5年度から開始し、伐採木のバイオマス発電の燃料化と花粉発生源対策に向けた取組を展開しております。自伐型林業につきましては、これからの林業として大変に興味深いものであると認識をしております。



豊かな森づくり事業(主伐)



すずき こうき  
鈴木 康揮

公明党 所属

## Q 女性のひきこもりについて

## A 把握することも難しい 市役所で毎月2回相談会 を開催

**問** 女性のひきこもりに  
ついて伺う。  
家族を支援する立場  
が女性である。

当市におけるひきこ  
もりについて実態を調  
査したことがあるか。

**答** 福祉介護課長

女性のひきこもりに関し  
ては、以前相談があり、支  
援を行ったことはありまし  
たが、現在相談を受けてい  
る方はおりません。  
ひきこもりに関する調査  
について、令和2年9月に  
山梨県が行いましたひきこ

もりに関する調査結果が公  
表されております。このう  
ち本市で該当する方は35人  
うち女性は5人とされてお  
ります。その後支援の働き  
かけを行いました。支援  
にはつながらなかったと伺  
っております。

また、県においては、今  
年の5月に、市町村とひき  
こもり地域支援センターで  
対応している当事者と家族  
に対してアンケート調査を  
行いました。

ひきこもりの実態につい  
ては、本人をはじめとして  
ご家族から相談が寄せられ  
るまでは不明な部分が多く、  
支援についてお知らせする  
必要がある方を把握するこ  
とも難しい状況であります。  
ひきこもりの方のご家族、  
関係者からの相談は、福祉  
介護課の障害者支援担当の  
ほか、子育て健康課の健康  
増進担当が窓口となってお  
ります。また、18歳未満の  
お子様に関しては、子ども  
家庭総合支援センターが窓  
口となり、相談を受けてお  
ります。窓口に来られない

方については、電話にて相  
談も受けております。

なお、山梨県では、山梨  
県ひきこもり地域支援セン  
ターを開設して、対面、電話  
電子メールやSNS、オン  
ライン、訪問相談など様々  
な方法で相談に応じており  
ます。また、令和5年7月  
からひきこもり支援を積極  
的に行う団体を認証し、よ  
り身近で相談や支援を行え  
るよう取り組んでおりま  
す。

本市においては、市役所  
で毎月2回、県から委託さ  
れたやまなし若者サポート  
ステーションぐんないサテ  
ライトの担当者が相談会を  
開催しております。

ひきこもりの方の問題は、  
同居の父母等が介護支援を  
必要とした際に相談があり、  
対応することを求められる  
ことがあります。年金や障  
害者手帳の申請、病院を受  
診する援助等、現状の支援  
を行うことで生活改善とな  
ることもあり、個別に必要  
な対応をしております。  
支援活動を行っている団

体と連携し、自宅以外に安  
心できる場所をリアルやオ  
ンラインで提供したり、不  
登校の子供が集まる居場所  
や学習の場を提供できる団  
体を周知していく必要があ  
ります。周知の方法につき  
ましても、SNSやオンラ  
イン面談等を活用し、必要  
な情報を届ける方法につい  
て検討してまいります。



ひきこもり



自由民主党

すずき もとかた  
鈴木 基方

## Q 業務の統括としての副市長の設置を

A 必要に応じ検討してまいります

**問** 事務の広域化を目指し、段階的に機構を整理していきつつ、市としての業務の統括として副市長を設置する必要があると考えるが、当局の考えを伺う。

**答** 市長  
現在、市の施策の検討及び実施に当たっては、庁議

に実施できると考えております。しかしながら、部長等を統括する立場は市長のみであり、副市長が独自の役割を果たし、より市政に効果を発揮することも考えられますので、必要に応じ検討してまいります。

## Q 市制70周年に向けての考えは

A 取組を将来に繋がる契機として展開していきたい

**問** 市制70周年に向けてどのような展開を考えているか、交流人口の確保ということで、本市に於いて滞っていたからには何か食べていただく必要があるが、飲食店が関わるような事業を考えているか。

**答** 総務部長  
来年度、本市は市制施行70周年を迎えます。この節

目に「未来へつなぐこともをまんなか」というテーマをメインに掲げ、地域の未来をつなぐためにSDGsの理念に沿った持続可能なまちづくりに向けて次世代を担う子供たちを中心にした取組を実施し、多くの市民の皆様にとつても、地域の魅力や活気を再認識し、未来への期待を共有できる場を提供したいと考えております。また、これらの取組を今回限りとせず、将来につながる契機として展開していきたいと考えております。

次に、70周年のタイミングでの食の事業につきましては、「大月玉ねぎ」をはじめとする地元食材や特産品を利用したメニュー開発につなげていきたいと考えております。事業実施には、市内飲食店をはじめとする関係者のご協力が必要でありますので、大月市産の特産品やブランド品をPRする機会として関係各位のご協力をいただけるよう事業を考えております。

**問** こういったイベントを実のあるものとするには、パイプのある商工会とよく相談していただきたいと考えるが。

**答** 産業観光課長

専門知見のある商工会への相談についてであります。商工会の関わりについては、市内商工業者の取りまとめの役割のほかに、その専門性からのご意見もお伺いしたいと考えるもので、今後つくり上げます計画の中では、議員ご提案の部分も協議していききたいと考えております。



大月玉ねぎ

## 大月市議会から令和6年能登半島地震義援金を送金しました

令和6年能登半島地震で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

大月市議会では、一日も早い被災地の復旧・復興を支援するため、

日本赤十字社へ義援金を送金しました。

募金箱  
(市民課窓口)



市役所市民課窓口や市内各出張所窓口にも、被災された方々を支援するための募金箱が設置されています。

皆さま方の温かいご支援をよろしくお願いいたします。

## 山梨県市議会議長会（後期）議員合同研修会



山梨県市議会議長会は、令和6年2月1日にアピオ甲府にて、後期の議員合同研修会を開催しました。県内13市議会の議員及び事務局職員が参加し、大月市議会からは10名の議員が参加しました。

東京都立大学法学部教授の 大杉 覚（おおすぎ さとる）氏を講師に迎え、「地域づくりとこれからの地方議会」をテーマに講演をしていただきました。

### 【研修会での習得事項及び感想】

講師は、地域づくりを取り巻く「難題」について、調査結果をもとに

- ①コロナ禍の影響で地域活動など地域づくりへの取組が消極的傾向になっている。
- ②活動の担い手不足の加速が懸念される。

と指摘しました。他方で、新たな地域づくりの活動の確かな芽生えとプラットフォーム形成がみられるとして、コミュニティ・リーダーとしての議員への期待を語りました。萎縮した姿勢がコミュニティの衰退を加速化させていないか。人口減少時代にあっても、議員には躍動する地域づくりの先導役を務めてほしい。

講師はこれからの地域づくりのヒントを話しました。これまで担い手として認められなかった人に光をあて、創造的な活動をきっかけとして若い世代を含めた多世代・多分野間交流・連携を実現させれば新たな地域活動の担い手が生まれてくる。「地域づくり人財」の育成・確保に注力することが重要だ。

非常に得るものが多い研修会でした。議員一人ひとりがコミュニティ・リーダーとしての自覚を再認識すること、議会としても持続可能な地域づくりに向け重要な役割があることが分かりました。大月市議会でも躍動する地域づくりへ挑戦したいと思います。（文責・藤本実）

# 議会日誌

あなたも  
本会議を傍聴しませんか

## 11月（後半）

20日	令和5年第3回東部広域水道企業団議会定例会
21日	議員定例懇談会
22日	議会運営委員会
29日	全員協議会
	令和5年第5回市議会定例会 開会

## 12月

13日	代表質問・一般質問
15日	総務産業常任委員会
	市議会広報委員会
18日	社会文教常任委員会
20日	議会運営委員会
	全員協議会
	令和5年第5回市議会定例会 閉会

## 1月

4日	新年互礼会
16日	議員定例懇談会
30日	市議会広報委員会

## 2月（前半）

1日	令和5年度山梨県市議会議長会（後期）議員合同研修会
	第39回山梨県市町村自治講演会
7日	臨時全員協議会
8日	令和6年第1回富士・東部広域環境事務組合議会定例会
13日	令和6年3月大月都留広域事務組合議会定例会

議会の傍聴は、傍聴券に住所・氏名などを記入するだけで出来ます。

詳しいことは、議会事務局へお問い合わせください。

※感染症拡大等の状況により自粛をお願いする場合があります。



## 3月定例会の日程（予定）

- 開会日 2月26日
- 代表質問 3月12日
- 一般質問 3月12日
- 一般質問（予備日） 3月13日
- 閉会日 3月21日

※ 詳細は議会事務局にお問い合わせください。

## 編集後記

本年は元日より大きな災害に被災された地域がありました。一日も早い復興に期待します。

大月市では200名を超える方が成人を迎えられました。また、市営駒橋団地（建替）及び定住促進住宅「エルムーン駒橋」の入居が開始されました。子育て世代の入居に多くの期待が寄せられ、市民の皆さまの声と共に子育て世代の方々の声もさらに反映し、住みやすいまちづくりに向け、今後もわかりやすい議会だよりの作成に取り組んでいきます。

（担当：鈴木康揮）

Editorial note

## <お知らせ>

### 令和5年度山梨県広報コンクール 議会広報紙部門【市部】 奨励賞 受賞

令和5年度山梨県広報コンクールにおいて、大月市議会だより171号が、議会広報紙部門で「奨励賞」に選ばれました。

表彰式は、令和6年度に行われる予定です。



## 市議会広報委員会からのお知らせ

市議会広報委員会では、市民の皆様へ親しまれ、愛される紙面づくりに努めておりますが、さらに見やすく、読みやすい紙面づくりのために、市民の皆様のご貴重なお意見・ご感想を議会事務局までお寄せ下さい。

発行 大月市議会  
編集 市議会広報委員会

大月市議会事務局  
〒401-8601 山梨県大月市大月2丁目6番20号  
TEL.0554-23-1057 FAX.0554-23-0321  
E-mail gikai-19206@city.otsuki.lg.jp



市議会  
広報委員会

委員長 藤本 実  
副委員長 鈴木 基方  
委員 山田 善一  
委員 山地 渉  
委員 鈴木 康揮  
委員 天野 築



この市議会だよりは、環境保護のため、再生紙・植物性インキを使用しています。